

プレスリリース

(お知らせ)

「お茶の水女子大学正門門扉復元完成式典」の開催について

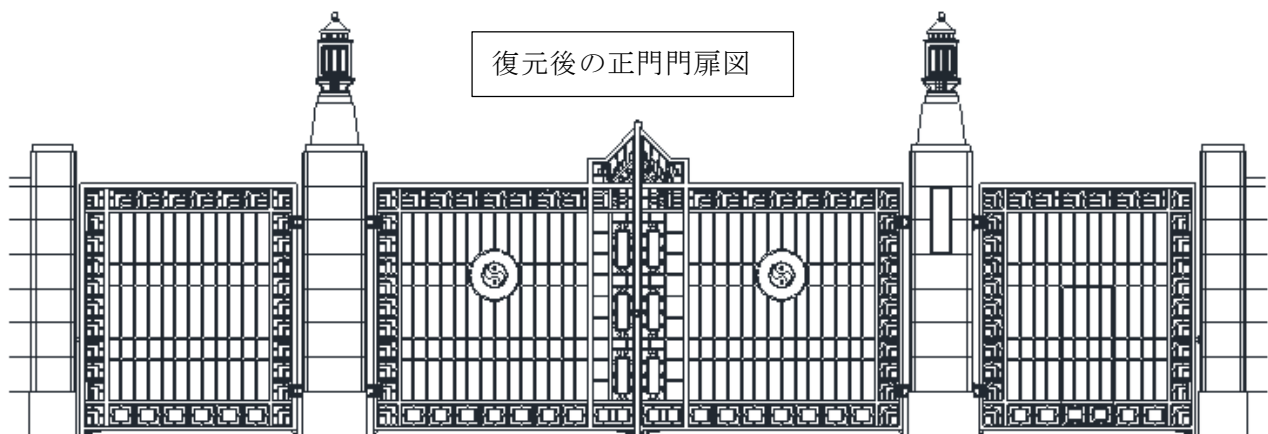
国立大学法人お茶の水女子大学では、①大学本館、②大学講堂、③附属幼稚園園舎、④大学表門（正門）の4件が登録有形文化財建造物として登録されています。

大学本館、大学講堂、附属幼稚園園舎の保存改修が完了しましたが、このたび保存改修が未着手となっていた大学正門門扉の復元事業として、1936（昭和11）年建設当時の門扉意匠及び道路歩道側の車止め設置の復元が平成29年8月31日に完成しました。この復元を記念して「お茶の水女子大学正門門扉復元完成式典」を下記により執り行うこととしましたのでお知らせします。

記

式典名： お茶の水女子大学正門門扉復元完成式典
日 時： 平成29年9月7日（木）12時50分から13時10分
※雨天の場合は、9月8日（金）同時刻
場 所： お茶の水女子大学正門前（東京都文京区大塚 2-1-1）（春日通り側）

平成29年9月1日



※1 雨天により延期とした場合は、開催日午前9時までに本学HPでお知らせしますので、ご確認願います。

※2 取材を希望される場合には、下記あてにお申し出ください。

【取材に関する問い合わせ先】

国立大学法人お茶の水女子大学

企画戦略課課（広報担当） 高木・小林

電話:03-5978-5105

E-mail : info@cc.ocha.ac.jp

< 参考資料 >

(お茶の水女子大学正門の沿革)

- 1875 (明治8) 年 11 月 29 日 東京都文京区湯島 3 丁目 24 番地に校舎等を建設
開校時は、東京女子師範学校 (その後、東京女子高等師範学校を
経て、お茶の水女子大学に改称)
- 1923 (大正 12) 年 9 月 1 日 関東大震災により校舎等が焼失
- 1936 (昭和 11) 年 6 月 焼失による復興として、現在の大塚キャンパス (東京都文京区大
塚 2 丁目 1 番 1 号) に大学正門が竣工、正門が建てられている敷
地は、埋蔵文化財包蔵地の指定があり、本学の設置以前は陸軍兵
器庫 (弾薬庫等) や安藤家武家屋敷跡地であった。

現在の大学正門は、国道 254 号線 (春日通り) に面し、建設後は戦時中の鉄材料の供出により門扉は外されたが 1955 (昭和 30) 年 3 月 23 日に丸パイプの鋼製門扉に取替えられた。

竣工時より門扉は一度取替えられ門柱照明器具は修理を行いながら、それ以外は手を付けずにお茶の水女子大学の保存建造物 (歴史的建造物) として維持管理をしてきた。

今回、大学本館、大学講堂、附属幼稚園園舎の登録有形文化財建造物の保存改修に続いて、残る大学正門の復元として、建設当時の門扉意匠及び道路歩道側の車止め設置の復元を行ったものである。

(登録有形文化財建造物の経緯について)

- H18.10.7 大学本館改修記念式典を開催する
- H18.11.9 大学本館等の文化財登録について、記念式典に出席された文化庁・亀井文化財鑑査官より連絡有り
- H18.11.14 大学本館等の文化財登録について文化庁及びお茶の水女子大学で打合せ
- H19.5.18 文化財申請に伴う所見作成依頼 (東京工業大学大学院理工学研究科/近代建築史/工学博士:藤岡教授)
- H19.9.12 文化庁文化財部、東京都教育委員会、文京区教育委員会の 3 者による現地の実査を実施 (大学立会い)
- H19.12.7 文化庁より、登録有形文化財 (建造物) 登録について、プレス発表される
- H20.3.7 登録有形文化財建造物 4 件が登録される (大学本館、大学講堂、大学正門、附属幼稚園園舎)
- H20.5.14 文京区教育委員会にて、登録有形文化財プレート 2 枚を受領する
- H29.8.31 大学正門復元改修に伴い、門柱に銘板を設置する

(復元に係る経費等)

- 工事名称 : 鋼製門扉 (角パイプ) 及び車止め復元その他
- 工 期 : 平成 29 年 4 月から 8 月 31 日
- 施工会社 : 株式会社 小野組
- 復元費用 : 25,488,000 円
- 経 費 : 大学運営基金 (寄附金)

(最終頁)